

平成十七年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成十七年五月一日～七月末

投句数 二、四〇九句

特選三句

天

行く雲に遠き月日や籐寝椅子

神奈川県鎌倉市 遠藤金子

地

炎昼や客あれば発つ人力車

神奈川県三浦郡葉山町 沼田重吉

人

どの色の菖蒲が好きと君の問ふ

東京都品川区 福本美恵子

入選句

一般の部

新緑のトンネル抜けて文学館

神奈川県鎌倉市

大隅美和子

葉桜の光こぼれる段かづら

東京都港区

山岸玲子

鐘楼の下に石工の三尺寝

神奈川県横浜市

斎川玲奈

北條の亡びし跡や草茂る

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

風が押す老舗ののれん夏きざす

神奈川県秦野市

小倉美代子

過ぎし日やまんだら堂の花菖蒲

神奈川県横浜市

山下省三

鎌倉の山美しき梅雨入かな

千葉県東金市

近藤和男

花菖蒲いっもどこかに水の音

山梨県南アルプス市

小池よし子

あじさいの花にわが色探しけり

東京都江東区

長峰栄子

法堂に持仏のひかり沙羅の花

東京都多摩市

中山正喜

紫陽花や江ノ電小さく曲り行く

愛知県豊田市

小田中雄子

はかなさを風に預けし糸とんぼ

神奈川県鎌倉市

九里良子

禅寺や素足で歩く長廊下

神奈川県鎌倉市

兵藤寿恵

梅雨明けの海の青さよ白帆ゆく

神奈川県鎌倉市

山内愛子

江の電に触れんばかりの青葉かな

埼玉県蕨市

高橋武

海よりの風の涼しき満福寺

神奈川県横浜市

黒滝志麻子

夕立やししばし軒借る仁王門

神奈川県横浜市

吉賀一夫

校庭にはじける声や梅雨晴間

神奈川県横浜市

実崎誠一

かけ声を追いかけてゆくまつりかな

神奈川県鎌倉市

島津雅子

源氏池訪ひて初蟬聞く日かな

神奈川県逗子市

佐藤信子

(順不同)

入選句

子どもの部

鎌倉の新緑かおる高德院

神奈川県伊勢原市

布川大和

あじさいのつぼみ整う明月院

群馬県伊勢崎市

根岸真通

あじさいがいきいきとさくあめのなか

群馬県渋川市

福島利香

つゆ空にひびきわたるよ寺の鐘

神奈川県鎌倉市

児玉馬生

夏休み家族みんなで鎌倉へ

神奈川県厚木市

井場木亮祐

ばら園のむこうに見える青い海

神奈川県横浜市

佐藤晃作

はせでらの空をゆうがに飛ぶつばめ

千葉県千葉市

須藤圭梧

大仏様夏の暑さにうごけずに

神奈川県横浜市

関 萌香

暑き日の腹切りやぐら涼しけり

神奈川県横浜市

伊東あゆみ

ふうりんのおとがきこえるだんかづら

神奈川県横浜市

吉田祐希

(順不同)